

LEARNING LOUNGE

3月31日(木) 14:00~

京都大学
物質-細胞統合システム拠点 (iCeMS=アイセムス)
本館2階 セミナールーム
京都市バス「京大正門前」下車すぐ「東山東一条」交差点 北西角

事前登録不要

(iCeMSメンバーは研究室経由で要事前登録)

使用言語

英語(質問は日英どちらでも受け付けます)



なぜ iCeMS の研究は重要な の？

「ラーニングラウンジ」では、毎回2名の若手研究者が自身の研究についてトークを行います。社会背景に関連づけた魅力的なトークにより、なぜ自分の研究が世界にとって重要なのか、専門外の方にもわかりやすく訴えかけます。

山本 暁え



あきと・あきし

しっかりギュッとくっついて! ——細胞をつなぐ力に迫る

細胞は生き物を形作るブロックのようなもので、互にくっつくために“糊”を持っています。この糊がなくなっていくと組織が崩れ、癌の転移のような重い病気につながる可能性があります。接着の強さが分かれば、細胞が健康かどうかを認識することができるかもしれません。そこで、接着力を直接測定し、細胞を特徴づけるための新たな手法をご紹介します。

あなたの「マニュアル」を守る

人間を操作する「マニュアル」は、体の中の特別な説明書に書き込まれています。その説明書は「DNA」と呼ばれ、もしDNAが傷つくと、マニュアルの一部がなくなったり、うまく伝わらなくなったりして、病気になりやすくなってしまいます。DNAは、体の外から傷つけられることもありますが、多くの場合は、体の中で日々おこっているさまざまな生命活動の中で傷ついていきます。では、傷ついたDNAはどのように修復されるのでしょうか——その解明方法に迫ります。

Georgia Kafer



ジョージア・ケーファー



ウェブサイト
tiny.cc/ll6j



facebook.com/Kyoto.Univ.iCeMS
twitter.com/iCeMS_KU

お問い合わせ先: iCeMS国際企画掛
oap-pr@icems.kyoto-u.ac.jp